

日本土壤微生物学会 2006 年度大会のお知らせ

日時：2006 年 6 月 9 日（金）サテライトミーティング，出前授業
10 日（土）公開シンポ，大会シンポ，ポスター発表，懇親会
11 日（日）口頭発表，総会，ポスター発表
12 日（月）エクスカーショ

場所：東北大学マルチメディア教育研究棟（2F マルチメディアホール，6F ホール）
仙台駅西口バスプール 16 番乗り場より仙台市営バス「交通公園循環（広瀬通経由）」または「交通公園・川内（宮）（広瀬通経由）」に乗り→川内郵便局前で下車

シンポジウム

「微生物多様性の中の機能ネットワークを探る」

1. 水田土壌の機能と微生物群集構造：浅川 晋（名古屋大）
2. 難培養性メタン生成古細菌 Rice Cluster I の分離と特性：井町寛之（長岡科技大）
3. 青枯病菌 *Ralstonia* のクオラムシグナルによる病原性発現：篠原 信（野菜茶業研究所）
4. ムギ類赤かび病菌 *Fusarium* におけるゲノムの多様性とパラドクス：須賀晴久（岐阜大）
5. ヒト腸内細菌叢のメタゲノム解析：服部正平（北里大）

市民向け公開シンポジウム（6 月 10 日の午前 10 時より 12 時まで開催）

「大地の微生物：大いなる未知」

1. ひと粒の土に微生物多様性を探る：服部 勉（東北大学名誉教授）
2. 土の微生物の働きを探る：染谷 孝（佐賀大学）

一般講演

別紙の通り 59 題の一般講演（口頭・ポスター）を行います。口頭発表は講演 12 分，討議 3 分です。ポスター発表のデューティータイムは 6 月 10 日（土）17:00～18:30 および 6 月 11 日（日）15:15～17:00 です。それぞれの一般講演の発表要領は，事務局より発表者に電子メールにてご案内いたします。

エクスカーショ

6 月 12 日（月）に，東北農業研究センター福島キャンパス，二本松市の有機栽培農家，福島県農業総合センターの見学会を予定しています。主な見学先と行程は以下の通りです。費用は昼食込みで 3,000 円です。

仙台駅 8:30 発

1. 東北農業研究センター福島キャンパス 根系と微生物に関する研究
2. 二本松市の有機栽培農家
3. アサヒビール園 昼食および工場見学
4. 福島県農業総合センター 新施設見学とメタン試験研究

郡山駅 16:00 頃解散

懇親会

東北大学マルチメディア教育研究棟（6F ホール）にて，6 月 10 日（土）18:30 より行います。

宿 泊

各自で御予約下さい。お早めの手配をお勧めします。

参加費，懇親会費等の振込・支払方法

5 月 12 日までに振込：会員 5,000 円，非会員 6,000 円，
学生 2,000 円（会員，非会員とも）

専用振込用紙で振り込み下さい。振込用紙が必要な方は大会事務局までご請求下さい。なお，5 月 15 日で郵便振替口座を閉鎖致しますので，それ以降は大会当日受付にてお支払い下さい。

5 月 13 日以降：会員 6,000 円，非会員 7,000 円，
学生 2,500 円（会員，非会員とも）

懇親会およびエクスカージョンに参加される方は、大会参加費と併せてお振り込み下さい。

懇親会費 5,000 円（学生は 1,500 円）

エクスカージョン参加費 3,000 円

サテライトミーティング「植物根圏の微生物・微小動物の機能と相互作用」

仙台大会では、上記のサテライトミーティングを開催しますので、奮ってご参加ください。プログラム・会場案内等、詳しくは HP を御覧下さい。参加費無料。

日時：2006 年 6 月 9 日（金曜日）午後 1 時～午後 6 時（終了後懇親会）

場所：東北大学片平キャンパス生命科学研究所本館 3 階会議室

HP address： <http://conference.miyakyo-u.ac.jp/soilmicroorg/index.htm>

出前授業（6 月 9 日（金）の午後開催）

仙台市立鶴が丘小学校において、6 年生児童約 50 名を対象に行います。授業タイトルは「土の微生物の不思議な力ー植物を助け、環境をきれいにする働き者ー」で、講師は東京農工大学の片山葉子先生です。

託児サービス

御希望の方は 4 月 28 日までに、大会事務局宛にご連絡下さい。

大会事務局

東北大学大学院 生命科学研究所 地圏共生遺伝生態分野

大会委員長 南澤 究 事務局 三井 久幸, 江田 志磨

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 TEL：022-217-5685, 5687 FAX：022-217-5684

E-Mail： dobi2006@ige.tohoku.ac.jp

エクスカージョン担当

福島農業試験場：佐藤紀男，三浦吉則，菅家文左衛門

東北農業研究センター畑地利用部：新田恒雄，浦嶋泰文

大会会場へのアクセス

仙台駅西口バスプール 16 番乗り場より仙台市営バス「交通公園循環（広瀬通経由）」または「交通公園・川内（営）（広瀬通経由）」に乗車→川内郵便局前で下車（約 12 分）徒歩 1 分。途中停車バス停：仙台駅前... 電力ビル前... 広瀬通一番町... 東北公済病院前... 立町小学校前... 仲の瀬橋... 二高・宮城県美術館前... 川内郵便局前（平日は 20 分，土日は 30 分に 1 本の間隔で運行しています）

詳しくは、仙台市交通局ホームページ <http://www.kotsu.city.sendai.jp/> の時刻表案内および東北大学ホームページ <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/map/access.html> のキャンパスマップを参照下さい。

日本土壤微生物学会 2006 年度大会プログラム

6月10日(土)

13:00~17:00 シンポジウム

「微生物多様性の中の機能ネットワークを探る」

- S-1 水田土壌の機能と微生物群集構造
浅川 晋 (名古屋大学)
- S-2 難培養性メタン生成古細菌 Rice Cluster I の分離と特性
井町寛之 (長岡科技大学)
- S-3 青枯病菌 *Ralstonia* のクオルモンによる病原性発現
篠原 信 (野菜茶業研究所)
- S-4 ムギ類赤かび病菌 *Fusarium* におけるゲノムの多様性とパラドクス
須賀晴久 (岐阜大学)
- S-5 ヒト腸内細菌叢のメタゲノム解析
服部正平 (北里大学)

一般講演 (ポスター発表)

17:00~18:30

- P-1 土壌微生物由来のセルラーゼ剤によるトウガラシマイルドモットルウイルスの感染抑制
○岡 紀邦・大木健広・本田要八郎・長岡一成・竹中 眞 (中央農研セ)
- P-2 バイオセンサーによるアブラナ科野菜根こぶ病胞子発芽誘引物質の探索~夾雑バクテリア由来の応答を排除した測定条件の確立~
○稲葉尚子・丹羽理恵子・松浦英幸・大崎 満・江沢辰広 (北海道大)
- P-3 絶対寄生性アブラナ科植物根こぶ病の核糖体 RNA 遺伝子転写ユニットの構造
○丹羽理恵子・大崎 満・江沢辰広 (北海道大)
- P-4 アブラナ科野菜根こぶ病に及ぼすカルシウムの影響
○村上弘治・畔柳有希子 (野菜茶業研)
- P-5 有用微生物資材によるアブラナ科作物根こぶ病軽減
○真栄里健正・吉見幸彦・秋田敬太 (多木化学(株))
- P-6 トマト青枯病菌を接種した軽石培地およびトマト根の細菌群集構造の経時的変化
○須賀有子・堀 兼明・小森冨香・福永亜矢子・池田順一 (近中四農研セ)
- P-7 *Olpidium brassicae* の遊走子の運動性及びレタスへの感染に及ぼす有機酢、炭酸ナトリウム及び天然活性物質の影響
○相野公孝・岩本 豊・神頭武嗣・前川和正 (兵庫農水技総セ)
- P-8 拮抗菌と糖、アミノ酸の併用による効果的なトマト青枯病防除
井出磨実¹・○豊田剛己¹・井川 岳¹・増田和成²・黒田哲生² (¹東京農工大, ²荏原製作所)
- P-9 Selection of Biocontrol Agents for Bacterial Wilt of Tomato from Kalimantan Soils.
○Yanetri Asi Nion・Koki Toyoda (Graduate School of Bioapplication and System Engineering, Tokyo University of Agriculture and Technology)
- P-10 紫紋羽病発生リンゴ園と隣接林地の土壌微生物群
○穴戸雅宏¹・横山秀美¹・門馬法明¹・坂本一憲¹・宮下俊一郎² (¹千葉大, ²森林総研)
- P-11 土壌還元消毒によるトマト青枯病に対する防除効果と微生物群集構造の変化
○前田征之¹・関口博之²・浅野英明¹・白鳥 豊¹・峯村 晃³・森川千春⁴・吉田清志⁵・橋本好弘⁶・横山和成² (¹新潟農総研, ²北海道農研セ, ³岐阜中山間農技研, ⁴長野中信農試, ⁵石川農総研セ, ⁶(株)サカタのタネ)
- P-12 有機物投入畑土壌における土壌構造の発達が生体等動態に及ぼす影響
○橋本知義¹・嶋谷智佳子¹・三好孝和²・三部光夫³・島野智之³・岡田浩明⁴・久富裕子⁵・高橋忠夫⁵ (¹九州沖縄農研, ²東北農研, ³宮城教大, ⁴農環研, ⁵西九州大)
- P-13 スラリー連用圃場における大腸菌群の性状
○木嶋伸行¹・丹治保典² (¹野菜茶業研, ²東工大)

- P-14 土壌類型の相異が水田土壌中の微生物バイオマス窒素の動態に及ぼす影響
○柴原藤善¹・犬伏和之² (¹滋賀農技振セ, ²千葉大)
- P-15 水田用除草剤 Clomeprop の土壌中における動態
○村野宏達・小林勝一郎・藤原伸介 (筑波大)
- P-16 水田土壌表層部における稲わらの分解過程に関与する真核生物群集の解析
浅利直子¹・石原利恵¹・中嶋泰則²・木村真人¹・○浅川 晋¹ (¹名古屋大, ²愛知農総試)
- P-17 有機物連用畑土壌における微生物活性と地力窒素の季節変化
○森岡幹夫・塩野宏之・熊谷勝巳 (山形農総研セ)
- P-18 各種土壌消毒が微生物活性および地力窒素に与える影響
○塩野宏之・森岡幹夫・熊谷勝巳 (山形農総研セ)
- P-19 マイクロ波による土壌消毒効果
○仲川晃生¹・越智 直¹・谷脇 憲¹・加藤 仁¹・山下正照²
(¹中央農研セ, ²(株)セルテックプロマネジメント)
- P-20 熱水消毒による土壌微生物群集への影響評価
○峯村 晃・浜崎健司¹・森川千春²・橋本好弘³・前田 征⁴・吉田清志⁵・横山和成⁶
(¹岐阜中山間農技研, ²石川農総研セ, ³(株)サカタのタネ,
⁴新潟農総研, ⁵長野中信農試, ⁶北海道農研)
- P-21 汽水域底土における硫酸還元菌の群集構造解析
○村岡 歩・鹿野秀一・金谷 弦 (東北大)
- P-22 多電極型バイオセンサーの試作と多面的な土壌診断方法の開発
橋本好弘¹・○山中一樹¹・浅賀宏一¹・軽部征夫^{2,3} (¹(株)サカタのタネ, ²東京工大, ³産総研)
- P-23 Isolation and Characterization of *Burkholderia* Strains of Chitinase and Antifungal Activity from Korea Ginseng Soil.
○Kyung - Sook Whang^{1,2}・Jong - Wha Lee¹・Soo - Jin Kim³・Min - Hye Cho²・So - Young Choi²・
Song - Ih Han²・Hee - Seong Son²・Yun - Ji Kim²・Sang - Dong Bae²
(¹Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ., ²Department of Biotechnology,
Mokwon Univ., ³Microbial Function Team, National Institute of Agricultural Biotechnology)
- P-24 Isolation and Identification of Hyperthermophilic Protease Producing Bacterium *Geobacillus* sp. C-2.
○Sang - Dong Bae¹・Byung - Yong Kim²・Kyung - Sook Whang^{1,3}
(¹Department of Biotechnology, Mokwon Univ., ²Korean Agricultural Culture Collection (KACC),
³Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ.)
- P-25 Physiological and Phylogenetic Characteristics of Fast Growing Copiotrophic Bacteria from Forest Soil.
○Hee - Seong Son・Kyung - Sook Whang (Department of Biotechnology, Mokwon Univ.)
- P-26 Purification and Phylogenetic Characteristics of Slow - Growing and Barely Culturable Soil Bacteria.
○Song - Ih Han¹・Kyung - Sook Whang^{1,2}
(¹Department of Biotechnology, Mokwon Univ., ²Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ.)
- P-27 Biodiversity and Quantitative Evaluation of Acidophilic Bacterial Populations in Humus Forest Soil.
○Min - Hye Cho¹・Takashi Someya²・Kyung - Sook Whang^{1,3}
(¹Department of Biotechnology, Mokwon Univ., ²Department of Applied Biological Science, Saga Univ.,
³Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ.)
- P-28 Phylogenetic Analysis of Microbial Populations in Different Layers of Coniferous Forest Soil as Determined by ARDRA.
○Yun - Ji Kim¹・So - Young Choi¹・Min - Hye Cho¹・Kyung - Sook Whang^{1,2}
(¹Department of Biotechnology, Mokwon Univ., ²Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ.)
- P-29 Evaluation of Stability and Gel Formation Ability of Micro - capsule Using by Sea Tangle Alginate.
○So - Young Choi¹・Min - Ho Yoon²・Kyung - Sook Whang^{1,3}
(¹Department of Biotechnology, Mokwon Univ., ²Ami - Tech Company Limited, Geumsan 314 - 943,
³Institute of Microbial Ecology and Resources, Mokwon Univ.)
- P-30 Microbial development in food waste composting in two regions of Thailand.
Prakitsin Sihanonth¹・Jittra Piapukiew¹・Maiko Kamihara²・Koichi Inoue²・○Takashi Someya²
(¹Faculty of Science, Chulalongkorn Univ., Thailand, ²Faculty of Agriculture, Saga Univ.)

- P-31 牛糞および畑土壌中で大腸菌は VNC 状態で長期間生残する
○古賀智大・松浦 敬・Gong Chun-ming・池田英彰・井上興一・染谷 孝(佐賀大)
- P-32 タイ国のアブラヤシ堆肥の微生物学的特性
○神原麻依子¹・Gong Chun-ming¹・Wu Shenjin¹・Prakitsin Sihanonth²・Jittra Pianukiw²・井上興一¹・染谷 孝¹(¹佐賀大, ²Faculty of Science, Chulalongkorn Univ., Thailand)
- P-33 鳥根県斐川町のヒマワリーオオムギ作付体系におけるアーバスキュラー菌根菌の共生状況
○花野義雄(近中四農研セ)
- P-34 寒冷荒廃地の黒ボク土に含まれるリンの可給化に対するアーバスキュラー菌根菌の寄与について
○伊藤浩平・西野徹哉・立石貴浩(岩手大)
- P-35 担子菌 *Coprinus* sp. の窒素利用特性の評価と窒素不動化資材への応用の可能性
○立石貴浩¹・滝沢崇幸¹・登尾浩助²(¹岩手大, ²明治大)
- P-36 根圏細菌 *Azospirillum lipoferum* の生産する密度依存性窒素固定阻害物質について
○小澤隆司・河内奈々子(大阪府大)
- P-37 ヨシに内生する脱窒菌の検索
○横山和平・竹中ひかり(山口大)
- P-38 嫌気窒素固定コンソーシアムの窒素固定に影響する因子の解析
○齋藤朝美・南澤 究(東北大)
- P-39 全ゲノム塩基配列情報に基づくダイズ根粒菌の芳香族化合物分解系およびチオ硫酸酸化系の解析
○伊藤尚文・増田幸子・三井久幸・江田志磨・南澤 究(東北大)
- P-40 *Bradyrhizobium japonicum* DNA マクロアレイによる根粒形成, 非根粒形成 *Bradyrhizobiaceae* 科細菌のゲノム比較
○板倉 学¹・佐伯和彦²・大森博文³・横山 正⁴・金子貴一⁵・田畑哲之⁵・大和田琢二⁶・田島茂行⁷・内海俊樹⁸・鮫島玲子⁹・三井久幸¹・南澤 究¹(¹東北大, ²奈良女大, ³大阪大, ⁴東農工大, ⁵かずさ DNA 研, ⁶帯畜大, ⁷香川大, ⁸鹿児島大, ⁹静岡大)
- P-41 ミヤコグサ根粒菌の共生状態における 1-aminocyclopropane-1-carboxylic acid deaminase 遺伝子 (*acdS*) の転写解析
○貫井憲之¹・南澤 究²・綾部真一¹・青木俊夫¹(¹日本大, ²東北大)
- P-42 ミヤコグサ根粒菌 *Mesorhizobium loti* における新規共生能欠損変異株の解析
○川原田泰之・江田志磨・三井久幸・南澤 究(東北大)
- P-43 難培養性細菌のゲノム解析を目指して～1細胞微量ゲノム増幅法の検討～
○西 智子・笠原康裕(北海道大)

6月11日(日)

一般講演(口頭発表)

- 9:00 O-1 アーバスキュラー菌根菌の樹枝状体におけるポリリン酸とアルカリホスファターゼ活性の同時検出
○船本林太郎・小柳津広志・青野俊裕(東京大)
- 9:15 O-2 ダイズの根粒形成変異体に共生するアーバスキュラー菌根菌のフロラ解析
○坂本一憲・津久井真紀(千葉大)
- 9:30 O-3 タイの酸性硫酸塩土壌におけるアーバスキュラー菌根菌の分離・同定
磯部勝孝・○肥後昌男・姜東鎮・石井龍一(日本大)
- 9:45 O-4 草炭による VA 菌根菌の成長と感染の影響
○馬楠・横山和平・丸本卓哉(山口大)
- 10:00 O-5 *Sphingobium amiense* YT 株による Octylphenol 分解における共存細菌と Cyclodextrin の効果
○大塚美奈¹・生長陽子²・長谷川守文¹・久留主泰朗¹・太田寛行¹(¹茨城大, ²東京農工大)
- 10:15 O-6 ノニルフェノールポリエトキシレート散布によるイネ葉圏細菌への影響
○花田晶子¹・吉田重信²・生長陽子³・小坂橋基夫²・太田寛行¹・對馬誠也²(¹茨城大, ²農環研, ³東京農工大)
- 10:30 休憩

- 10:45 O-7 水田土壌の原生生物群集に及ぼすメタンの影響
○村瀬 潤¹・Peter Frenzel² (¹名古屋大, ²Max Planck Institute)
- 11:00 O-8 熱帯水田におけるメタン生成活性と基質添加の影響
○犬伏和之¹・村上未央¹・八木一行² (¹千葉大, ²農環研)
- 11:15 O-9 ダイズ根粒根圏の N₂O 発生と生物群集構造解析
○田邊謙二¹・平山潤太¹・金 榮厚²・池田成志³・江田志磨¹・南澤 究¹
(¹東北大, ²農環研, ³筑波大)
- 11:30 O-10 ワラ類と堆肥の併用が微生物バイオマス・呼吸活性と細菌フロラに及ぼす影響
○堀 兼明・須賀有子・小森冨香・福永垂矢子・池田順一 (近中四農研セ)
- 11:45 O-11 キバナルピナスを用いた白紋羽病菌の土壌からの検出
○中村 仁¹・富田恭範²・吉田幸二¹・島根孝典¹ (¹果樹研, ²茨城農総七園研)
- 12:00 評議員会
- 13:00 総会
- 14:00 O-12 有機物を連続無機化発酵することによる養液栽培
○篠原 信・上原洋一 (野菜茶業研)
- 14:15 O-13 長期肥料連用試験圃場の水田表面水中におけるウイルス数と細菌数の関係
○中山奈津子¹・奥村真未¹・井上勝弘²・浅川 晋¹・木村真人¹
(¹名古屋大, ²愛知安城農技セ)
- 14:30 O-14 多電極型バイオセンサーを用いた土壌診断データベースの構築
○橋本好弘¹・山中一樹¹・浅賀宏一¹・軽部征夫^{2,3}・峯村 晃⁴・森川千春⁵・吉田清志⁶・
前田征之⁷・横山和成⁸・竹中重仁⁸ (¹(株)サカタのタネ, ²東京工科大, ³産総研,
⁴岐阜中山間農技研, ⁵石川農総セ, ⁶長野中信農試, ⁷新潟農総研, ⁸北海道農研)
- 14:45 O-15 資材投入によるバイオセンサーの応答変化と発病程度
橋本好弘¹・佐々木朝子¹・山中一樹¹・浅賀宏一¹・峯村 晃²・森川千春³・吉田清志⁴・
前田征之⁵・横山和成⁶・竹中重仁⁶ (¹(株)サカタのタネ, ²岐阜中山間農技研,
³石川農総セ, ⁴長野中信農試, ⁵新潟農総研, ⁶北海道農研)
- 15:00 O-16 高温環境中微生物の多様性
○河原林裕 (産総研)

一般講演 (ポスター発表)

15:15 ~ 17:00

